第５回アジア都市・建築フォーラム

Japan Vietnam Architecture Forum 2018 – HoChiMinh

日本・ベトナム建築フォーラム 2018

2018/1/23-24

実施報告書

目次

１．開催概要 4
２．プログラム 5
３．展示 15
４．見学 18
５．メディア 20
６．アンケート用紙 28
７．印刷物 29
８．展示・デザイン 32

REX HOTEL SAIGON

Reception Desk

Exhibition 会場 – Lotus Foyer

１．開催概要

名称　第５回アジア都市・建築フォーラム
日本・ベトナム建築フォーラム 2018
（英文　Vietnam Japan ARCHITECTURE FORUM 2018）

主催　一般財団法人国際建築活動支援フォーラム（JSB）
共催　ホーチミン建築家協会
主管　デルファイ研究所
後援　国土交通省、ベトナム建築家協会、
公益社団法人日本建築家協会、一般社団法人日本建築学会、
公益社団法人日本建築士会連合会、一般社団法人日本建築事務所協会連合会、
一般社団法人日本建設業連合会

テーマ　住い・都市開発・環境
「ＣＲＯＳＳ　ＣＯＬＬＡＢＯＲＡＴＩＯＮ」

１）開催期間

建築フォーラム　２０１８年1月２３日（火）～２４日（水）
交流レセプション　　1月２３日（火）　１７時３０分～１９時
展示会　　1月２３日（火）～２４日（水）

２）会場

REX HOTEL SAIGON
ホーチミン市１区内中心部の伝統あるホテル
発表　LOTUS
展示　LOTUS FOYER

３）参加対象

設計事務所、デベロッパー、不動産業、コンサルタント、
建設業、設備メーカ、ベトナム政府機関、国営企業、
大学他　現地日本企業

２．プログラム

■フォーラム１　　1 月 23 日：参加者４１２名　（越・日同時通訳付）

総合司会　：浜田明彦 JSB 評議員

モデレータ：Vu Viet Anh　建築家　ホーチミン建築大学教員

開会

９：００～９：３０　　開会挨拶

小倉善明 JSB 理事長

Nguyen Tan Van 氏 ベトナム建築家協会 会長

河上淳一　在ホーチミン日本国総領事

第一部

９：３０～９：５５　　講演　建築家　Thai Ngoc Hung 氏

“ORIENTATION FOR URBAN DEVELOPMENT OF AREAS SURROUNDING METRO STATIONS”

９：５５～１０：３５　　講演　建築家　小林　博人 氏

“Empathic Design”

１０：３５～１０：５０　　コーヒーブレイク

第二部

１０：５５～１１：３０　　発表１ 大成建設（田口晃、太田雅昭）

１１：３０～１２：０５　　発表２ 日本設計 （富永直樹）

１２：０５～１３：３０　　ランチブレイク

第三部

１３：３５～１４：０５　　講演　建築家　Nguyen Van Tat 氏

“Architecture masterpiece is the work that has been formed by the culture and the art of behavior of human - the architect”

１４：１０～１４：１５　　質疑応答

１４：１５～１５：１５　　講演　建築家　槇　文彦 氏

“A Humanism of Empathy”

１５：１５～１５：３０　　質疑応答

１５：３０～１５：５０　　コーヒーブレイク

１５：５０～１６：２５　　発表３ 三菱地所・三菱地所設計（高橋洋介・金城敦彦）

１６：２５～１７：００　　グループディスカッション　質疑応答

閉会

■フォーラム２　　１月 24 日　参加者３６０名　（越・日同時通訳付）

第一部

ホーチミン地下鉄１号線駅舎空間及び開発現場見学

１０：００～１１：３０　　第一班見学

１０：３０～１２：００　　第二班見学

ホーチミン都市開発現場視察「Thu Thiem New Urban Area」

１３：３０～１７：００

第二部

総合司会　：浜田明彦 JSB 評議員

モデレータ：小林博人氏

１３：００～１３：０５　　イントロダクション

１３：０５～１３：３５　　発表４　日建ハウジングシステム（福田朋宏）

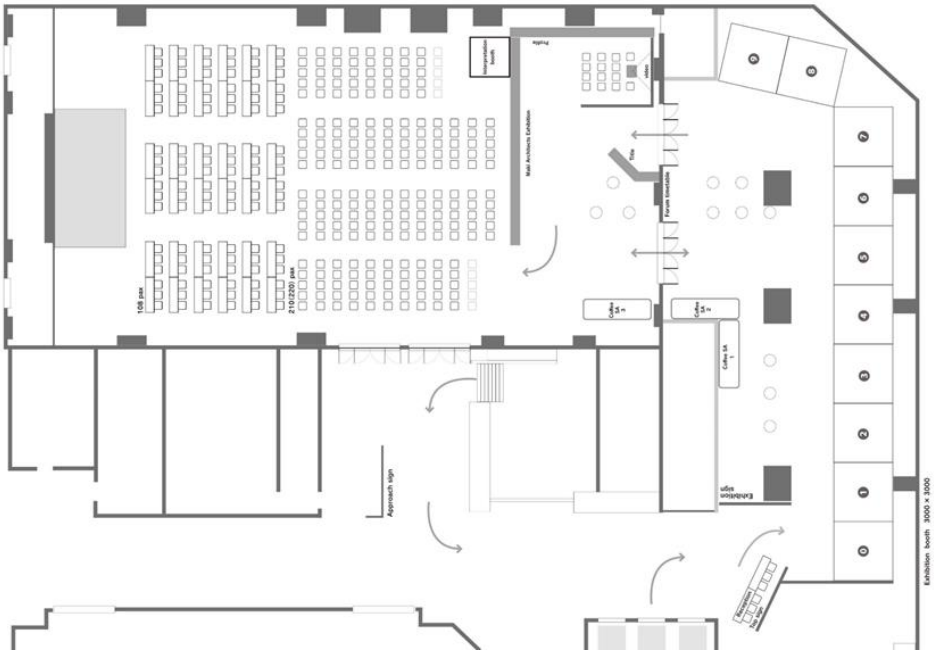
１３：３５～１４：１５　　講演　建築家　小林博人 氏

１４：１５～１５：１５　　講演　建築家　槙文彦 氏

１５：１５～１５：５０　　質疑応答

１５：５０～１６：００　　挨拶　小倉善明　JSB 理事長

閉会



Floor Plan

■JAPAN　VIETNAM　ARCHITECTURE　FORUM HCM 2018

ホーチンミン　フォーラム冒頭挨拶（理事長　小倉善明）

ベトナム建築家協会会長　Ngyuen Tan Van 様
在ホーチミン日本国総領事河上淳一様（かわうえ　じゅんいち）
ご来場の皆さま、本日多くの皆さまのご協力により、ここホーチミンで、昨年２月に引き続き第２回目の建築フォーラム及び展示会が開催できたことを喜びとするところです。
今回のフォーラムは日本国国土交通省及び建築５団体の後援を頂き開催されるものです。ご協力をいただき大変感謝しております。
昨年１１月に我々はジャカルタでこの建築フォーラムを開催し大変盛況でした。
今回のフォーラムには、世界を代表する建築家槇文彦氏に参加していただきました。
建築と都市に関して有意義なお話と意見交換の機会がありますのでご期待ください。
ご講演はベトナムからは、ベトナム建築家 Thai Ngoc Hung 様、Nguyen Van Tat 様、日本からは建築家小林博人様（こばやし　ひろと）が予定されています。
今回のフォーラムはホーチンミンにおいてはインフラや都市開発が非常に重要な局面を迎えていることを踏まえ、日本側からはこの問題に特化したプレゼンテーションを予定しています。
建築や都市を作ることは、人々の生活環境を作り出すことになります。その意味で都市開発を担当するデベロッパー、建築家、施工者など数多くの専門家がお互いに協力しあうことが非常に大切であると考えています。その意味で、このフォーラムのサブテーマを「CROSS COLLABORATION」としています。ベトナムは日本と共有するアジア圏下にあります。インフラ整備、まちづくりや環境整備における問題解決の発表事例は必ずや皆さまのお役に立つものであると考えます。
明日は、日本側からの発信のみならず、現地ホーチミン建築情報提供プログラムも用意されています。ご期待ください。

さて、日本建築家協会は今年９月に、アジア２１カ国の建築家がつどうアルカシア大会を東京で開催いたします。我が国建築界がアジア諸国のお役に立てる良い機会であると思っています。是非この機会に我が国においでくださるように期待しておりますし、我々もお待ちしています。
有り難うございました。

■ベトナム建築家協会　Nguyen Tan Van 会長 ご挨拶

－ 日本とベトナムの皆さん
－ 槇文彦さま
－ベトナム協会を代表して、「クロスコラボレーション～生活空間、都市開発、環境協力」をテーマにした第２回ベトナム・日本建築フォーラム 2018 にお礼を申し上げます。
フォーラムに出席する 1993 年 Prizker Gold Medal を受賞し、AIA Gold Medal、UIA 等、日本と世界の多くの優れた建築作品を作った世界的に有名な建築家、槇文彦さんに感謝したいと思います。
このフォーラムのトピックは、建築家の中核で緊急な課題に焦点を当て、都市部に安全で清潔で親しみやすい生活空間を作り、コミュニティの持続可能な生活のために環境を保護します。
都市開発が大きくなればなるほど、建築家、建設業者、不動産投資家の活動における専門的責任を必要とする健全で安全で持続可能な生活環境を構築する必要性が高まります。
－ ここ数年、ベトナムと日本の建築家、ベトナム日系建設者たちはベトナムの多くの都市開発プロジェクトで協働し、協力してきました。より発展するほど、連携と協力の効率と品質の向上が求められます。

私たち – ベトナムの建設業者は、日本のビルダーの質のプロフェッショナリズム、真剣さ、慎重さ、そして敬意など、日本の同僚の経験に常に感謝しています。そのような貴重な経験から学ぶことによって、多くの建築家 – 建築技術者が部分的に成長しました。

ベトナム – 日本建築フォーラムは、お互いを理解し、お互いをサポートし、学び、人々が障害を克服するのを助けるために経験を移し、ベトナム市場でのプロジェクトの成功裏に実施する良い機会です。

私たちは、日本の建築と世界の理論と実践への献身に敬意を表して、槇文彦氏を歓迎します。

私は彼のプレゼンテーションは、若い建築家がベトナムに従う動機になり、彼らがもっと建築を愛し、より専門的に従事することになると信じています。

私たちはホーチミン市 – ベトナムで健康と暖かい日々を過ごすことを願っています。

ホーチミン市建築家協会は国際建築支援フォーラム（JSB）とデルファイ研究所に感謝します。 ホーチミン市がフォーラムを主催しました。

第２回ベトナム・日本建築フォーラムは誰にも有効で効果的です。

健康、

2018 年１月　　（based on Google 翻訳）

■在ホーチミン日本国総領事館　河上淳一総領事 ご挨拶

ベトナム建築家協会　会長　Nguyễn Tấn Vạn　様

槇総合計画事務所　代表取締役　槇文彦　様

ご列席の皆さま

本日は，第４回「日本・ベトナム建築フォーラム」にお招き頂き，ありがとうございます。在ホーチミン日本国総領事館を代表して，一言ご挨拶申し上げます。

ベトナム経済を牽引するホーチミン市は，昨年も８％を越える経済成長を達成し，市内各地では高層マンションやオフィスビル，道路，都市鉄道などの建設工事が進められています。しかし，このような「街づくり」を持続的に進めていくためには，安心・安全で環境にやさしい建設技術や都市計画が不可欠です。

昨年に引き続き，ここホーチミン市で開催される「日本・ベトナム建築フォーラム」では，日本からも多くの設計事務所・建設会社・デベロッパーが参加し，ＡＳＥＡＮ地域における日系企業の取組が，広く紹介されると伺っております。この機会に，日本の建築界が長年に亘り培ってきた技術・経験が広く共有され，ベトナムにおける建設業のレベルアップと，国造りに大いに貢献することを期待します。

また今次フォーラムでは，交流レセプションや視察ツアーなど，日越の交流及び提携を促進する，様々なプログラムが予定されています。日系企業が施工している地下鉄１号線の現場をベトナムの専門家の皆様に視察頂くことで，日本品質の建設が少しでも身近なものとなり，近い将来，実際に専門家の皆様が日本を訪れ，多くの建設事例に接して頂く契機となることを期待します。また，日本の皆様には，ホーチミン市の建設事情を知って頂き，今後，建設分野における日越間の協力関係を更に加速させて頂きたく思います。

最後に，日越両国の建築界の今後のご発展，本日ご列席の皆様方のご健勝とご多幸をお祈りし，私の挨拶とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

Forum - Moderators

JSB　濱田明彦氏（総合司会）

ホーチミン建築家協会　Vu Viet Anh 氏

Forum –　参加者１月２３日 ４１２名;　　１月 24 日 ３２０名

Forum – 会場全景

Forum - １月２３日；１月２４日　Special Guest Speaker

建築家　槇文彦 氏

Forum - １月２３日　Keynote Speakers

建築家 Thai Ngoc Hung 氏

建築家 小林博人氏

建築家 Nguyen Van Tat 氏

Forum - １月２３日、２４日　Presenters

大成建設　太田雅昭 氏、田口晃 氏

日本設計　富永直樹 氏

三菱地所設計　高橋洋介 氏　　三菱地所　金城敦彦 氏　　日建ハウジングシステム　福田朋宏 氏

Forum - Panel Discussion

Forum – Coffee Break

Reception - 2月23日 18:00 ～ 19:30 参加者48名

「日本・ベトナム建築フォーラム」日越交流レセプション

日時　１月２３日（火）１８時～１９時３０分

会場　ホーチミン市　Rex Hotel Saigon １階　Vertical Garden

開会　　１８：００

司会　浜田明彦（日建ハウジングシステム代表取締役、JSB 評議委員）

主催者開会挨拶　　小倉善明（国際建築活動支援フォーラム（JSB）理事長）

共催者挨拶　　Nguyen Truong Luu（ホーチミン建築家協会　会長）

来賓祝辞　　Nguyen Thanh Nha　（ホーチミン市建築計画局）

歓談　　１８：１０～１８：５５

閉会挨拶　　Nguyen Van Tat（ホーチミン建築家協会 福会長）

閉会　　１９：３０

ホーチミン建築家協会 会長

Nguyen Truong Luu 氏

ホーチミン市建築計画局

Nguyen Thanh Nha 氏

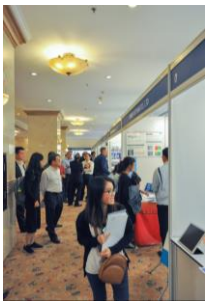
３．展示

Exhibition　10 企業展示

小間番号	出展企業
0	AGC アジア パシフィック
1	株式会社エフワンエヌ
2	株式会社竹中工務店
3	株式会社日建ハウジングシステム
4	株式会社三菱地所設計・三菱地所株式会社
5	株式会社日本設計
6	株式会社安井建築設計事務所
7	太陽工業株式会社
8	大成建設株式会社
9	株式会社ＬＩＸＩＬ

Exhibition　槇文彦建築展　１月２３日～２４日

Exhibition　会場風景



各社展示

AGC アジア パシフィック

株式会社エフワンエヌ

株式会社竹中工務店

株式会社日建ハウジングシステム

三菱地所株式会社・株式会社三菱地所設計

株式会社日本設計

株式会社安井建築設計事務所

太陽工業株式会社

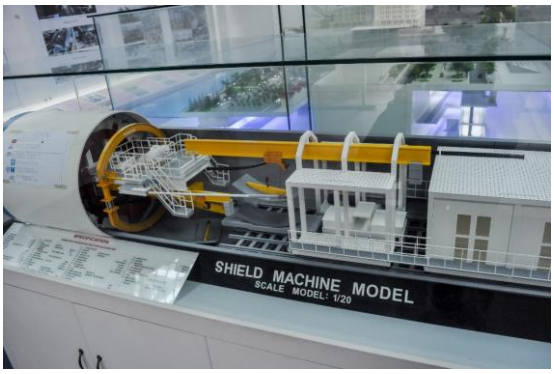
大成建設株式会社

株式会社 LIXIL

４．見学

Excursion – 1 月 24 日 HCMC Metro Line 1 Stations　　参加者 67 名

視察先：　Opera House 駅、Ba Son 駅



Opera House Station Underground
Hầm Ga Nhà Hát

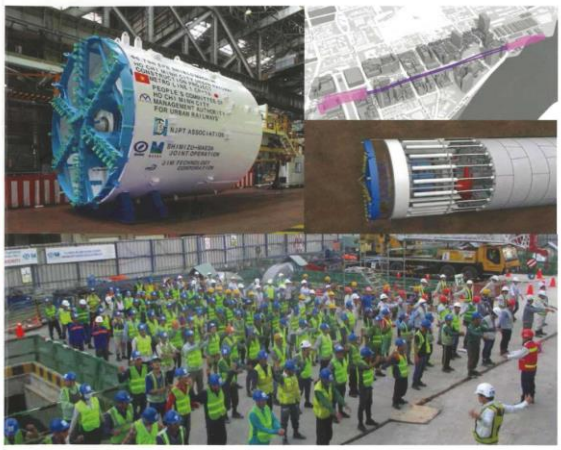
Casting Concrete for Roofslab at Opera House Station
Đổ bê tông sàn mái ga Nhà Hát

Overview of Ba Son Station
Toàn Cảnh Khu Vực Ga Ba Son

Copyright reserved by Shimizu-Maeda Joint Operation

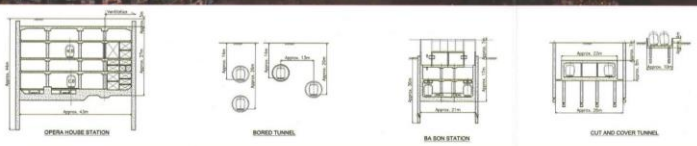
VIET NAM - JAPAN FRIENDSHIP AND COOPERATION
VIỆT NAM - NHẬT BẢN TÌNH HỮU NGHỊ VÀ HỢP TÁC

THE FIRST SUBWAY IN VIETNAM
TUYẾN TÀU ĐIỆN NGẦM ĐẦU TIÊN TẠI VIỆT NAM
HO CHI MINH CITY URBAN RAILWAY - LINE 1
CONSTRUCTION PACKAGE 1b (UNDERGROUND)



NGUỒN VỐN VAY: CƠ QUAN HỢP TÁC QUỐC TẾ NHẬT BẢN — ODA LOAN: JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
CHỦ ĐẦU TƯ: BAN QUẢN LÝ ĐƯỜNG SẮT ĐÔ THỊ — EMPLOYER: MANAGEMENT AUTHORITY FOR URBAN RAILWAYS
TƯ VẤN CHUNG: LIÊN DANH NJPT — GENERAL CONSULTANT: NJPT ASSOCIATION
NHÀ THẦU: LIÊN DANH SHIMIZU-MAEDA — CONTRACTOR: SHIMIZU-MAEDA JOINT OPERATION

HCMC METRO LINE1 PROJECT - Package CP-1b



CP-1b PROJECT PACKAGE OUTLINE
TỔNG QUAN GÓI THẦU CP-1b

UNDERGROUND STATION / GA NGẦM

- ***Opera House Station / Ga Nhà Hát Thành Phố***

Length: 190m, Width: 26.1m, Depth: 27.4m
B1-B4 Total Floor Area: 14,287m2
Construction Method: Top-down Method
Permanent Diaphragm Wall: Thickness 1.5m, Depth 44m

- ***Ba Son Station / Ga Ba Son***

Length: 240m, Width: 34.5m, Depth: 17.3m
B1-B2 Total Floor Area: 9,230m2
Construction Method: Bottom-up Method
Permanent Diaphragm Wall: Thickness 1.0m, Depth 36m

SHIELD TUNNEL / BORED TUNNEL
HẦM KHIÊN ĐÀO / HẦM KHOAN

Segment Diameter: 6.05m (inner), 6.65m (outer)
Length: 781m x 2 tunnels
Earth Covering: 8.1m ~ 22.3m

CUT & COVER TUNNEL / HẦM ĐÀO HỞ

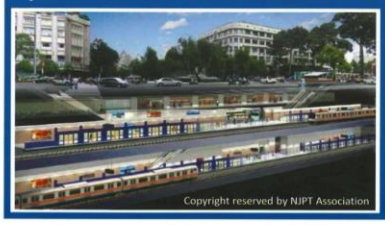
Type A
Length: 66m, Width: 20.25m, Depth: 15.9m ~ 17.0m
Permanent Diaphragm Wall: Thickness 1.0m, Length: 35m

Type B
Length: 128m, Width: 11.5m ~ 25.7m, Depth: 10.6m ~ 12.8m
Cast in Place Pile: ϕ1,200 x 128 piles
Steel Pipe Sheet Pile: ϕ1,300 (In the Saigon River)

Type C
Length: 206m, Width: 9.9m ~ 11.2m, Depth: 6.7m ~ 11.1m
Box Culvert
Cast in Place Pile: ϕ800 ~ ϕ1,000 x 132 piles

Type U
Length: 134m, Width: 10.1m, Depth: 0.0m ~ 3.8m
U Shape
Cast in Place Pile: ϕ800 x 66 piles

Opera House Station



Ba Son Station

５．メディア

招待先メディア（ベトナム：17 社、日本：14 社、全 31 社）

1. Báo Xây dựng　建築新聞
2. Tạp chí Kiến trúc Việt Nam　ベトナム建築（雑誌）
3. Tạp chí Nhà đẹp　素敵な家/ニャーデップ（雑誌）
4. Hội kiến trúc sư Việt Nam　ベトナム建築協会
5. hệ thống TRUYỀN THÔNG NGÀNH XÂY DỰNG　建築サイト（WEB サイト）
6. Tạp chí Kiến trúc & Đời sống　建築＆生活（雑誌）
7. Tạp chí Quy hoạch Đô thị　都市計画雑誌
8. Đài truyền hình TP.HCM　HCM テレビ
9. Báo Vietnam net　ベトナムネット（WEB サイト）
10. Đọc báo　ドックバオ（WEB サイト）
11. Báo Tiền Phong　ティエンフォン新聞
12. Lao Dong Newspaper　労働新聞
13. Dan Tri　ザンチー（WEB サイト）
14. Tuoi tre newspaper　若者新聞（WEB サイト）
15. 1 world newspaper　１ワード新聞（WEB サイト）
16. Thanh nien newspaper　タンニエン新聞
17. vnexpress　VNEXPRESS（WEB サイト）
18. NHK ハノイ支局
19. 朝日新聞
20. 日本経済新聞
21. 時事通信
22. 共同通信
23. 読売新聞社
24. NNA
25. AJ
26. Vetter
27. LIV
28. sketch
29. SK/weekly
30. access
31. VIETJO

掲載メディア

国	媒体名	備考
日系ベトナム	週刊 SK	2 月 26 日予定
日系ベトナム	週刊 Vetter	2 月 21 日予定
日系ベトナム	Viet-Jo	http://www.viet-jo.com/preview/event/180117114253.html
日系	時事通信	http://jijiweb.jiji.com/info/sample/BNL_2018.01.23_vietnam.html
日系	日刊建設通信新聞	https://www.kensetsunews.com/archives/151211
ベトナム	Báo điện tử Xây dựng	http://www.baoxaydung.com.vn/news/vn/quy-hoach-kien-truc/giao-luu-kien-truc-viet-nam-nhat-ban.html
ベトナム	Nhà Đẹp	http://www.tcnhadep.com/takenaka-gop-mat-tai-dien-dan-kien-truc-viet-nam-nhat-ban-2018/
ベトナム	Ki ế n Trúc & Đời Sống	https://ktds.vn/n51-tin-hoi/n3467-dien-dan-kien-truc-viet-nam-nhat-ban-2018-thu-hut-su-quan-tam-cua-gioi-chuyen-mon.html
ベトナム	ホーチミン建築大学	http://www.uah.edu.vn/router_detail/moi-tham-du-dien-dan-kien-truc-viet-nam--nhat-ban--3780.html
ベトナム	ホーチミン建築家協会	http://hoiktstphcm.com/tin-tuc/Dien-dan-kien-truc-viet-nam-nhat-ban-2018-thu-hut-su-quan-tam-cua-gioi-chuyen-mon-N17782
ベトナム	KienTruc Vietnam	http://kientrucvietnam.org.vn/moi-tham-du-dien-dan-kien-truc-viet-nam-nhat-ban-2018/

Media　掲載記事抜粋 －　建設通信新聞 Online　　2018 年 1 月 24 日

GO GLOBAL CAREER FAIR
有名外資・グローバル企業
2月16日(金) 16:30-21:00 多数出展
事前登録はこちら!

建設通信新聞 DIGITAL
kensetsunews.com

団体

日本の建築力を発信/JSBがホーチミンで建築フォーラム

[2018-01-24　2面]

ベトナムでも人気を集める槇氏

あいさつするグェン・タン・ヴァン会長

あいさつする小倉理事長

【槇氏が特別講演、10社がプレゼン・展示】

【ホーチミン＝今野英司】日本の建築力を世界に発信－－。国内の建築界の海外活動を支援している国際建築支援活動フォーラム（ＪＳＢ、小倉善明理事長）による日本・ベトナム建築フォーラム２０１８「住まい・都市開発・環境－Ｃｒｏｓｓ　Ｃｏｌｌａｂｏｒａｔｉｏｎ」が２３日、ベトナム・ホーチミン市のＲＥＸホテルで始まった。ホーチミン建築家協会が共催、国土交通省や建築設計団体が後援した。今回は世界的な建築家・槇文彦氏を招き「ＡＨｕｍａｎｉｓｍ　ｏｆ　Ｅｍｐａｔｈｙ」と題する個展を開くとともに、設計事務所やゼネコン、メーカーなど１０社が出展。現地のディベロッパーや建築家らとの意見交換で交流を深め、新たなビジネスの機会を探った。　２０１２年に発足したＪＳＢは、若手建築家の海外活動を支援を皮切りに、１５年からは日本建築界の海外活動支援として現地で活動を展開。これまでバンコク（タイ）、シンガポール、ハノイおよびホーチミン（ベトナム）、ジャカルタ（インドネシア）でフォーラムを開き、具体的な事例を踏まえつつ、日本の建築力を発信してきた。

ホーチミン開催は、ベトナム建築家協会およびホーチミン建築家協会からの要請で１７年２月に続いて２回目となる。事前に現地の建設省や建築家協会、大学、在越日本大使館を通じたヒアリングで挙げられた課題に対し、出展企業１０者が、日本の都市開発・建築デザインやマネジメント建設技術、安全性、品質管理を含めた総合力をプレゼンテーションや展示を通じて発信し、解決策などを提示した。

初日の開会式では、小倉理事長が「ホーチミン市のインフラや都市開発が重要な局面を迎える中で、数多くの専門家が協力し合うことが重要だ。日本と共通した自然環境下にある中、発表事例は問題解決に必ず役立つと確信している。９月には東京でアジア２１カ国が参加するアルカシア大会があり、ぜひ日本を訪れてほしい」と語った。

グェン・タン・ヴァンベトナム建築家協会長は「フォーラムを通じて日本の経験、プロフェッショナルな仕事の姿勢を学び、より良い連携・協力関係をつくりたい」とした。河上淳一在ホーチミン日本国総領事は「日本の建築界が培ってきた技術が広く共有され、ベトナムの建築技術のレベルアップに貢献してほしい。日越の交流と連携を促進するプログラムを通じて、日本品質の建設技術を身近に感じ、近い将来に日本を訪れ、多くの建設事例に接していただきたい」と期待を寄せた。

この後、ベトナムの建築家・タイ・ゴック・フン氏と小林博人慶応大大学院教授（小林・槇デザインワークショップ）がそれぞれ基調講演したほか、槇氏による特別講演などが行われた。プレゼンテーションでは大成建設と日本設計、三菱地所設計／三菱地所グループの３者が、連携やコラボレーションを軸にプロジェクトを成功に導いた手法などを紹介した。２４日にはホーチミン地下鉄１号線駅舎空間と開発現場の見学会や、小林氏と槇氏がそれぞれ講演。現地の若い建築家および学生とのトークセッションなどを予定している。

今回の出展企業は次のとおり。

▽ＡＧＣグループ▽竹中工務店▽エフワンエヌ▽日建ハウジングシステム▽三菱地所設計／三菱地所▽安井建築設計事務所▽大成建設▽日本設計▽太陽工業▽ＬＩＸＩＬベトナム。

Media　掲載記事抜粋 –　Nhà Đẹp/ ホーチミン建築家協会

Media　掲載記事抜粋 –　建設通信新聞　　2018 年 1 月 24 日

建設通信新聞　2018年（平成30年）1月24日（水曜日）（2）

日本の建築力を発信

槇氏が特別講演、10社がプレゼン・展示

【ホーチミン＝野間口雅俊】日本の建築界が培ってきた技術力などを紹介する「日本の建築力」を発信する「JSB（日本建築設計監理事務所）」が、ベトナム・ホーチミン市のRSXホールで開いたホーチミン建築協会主催、国土交通省や建築設計団体が後援した。今回は建築界が抱える問題や、ベトナムでの建築設計業務の魅力などを紹介する。槇文彦氏が特別講演を行ったほか、10社がプレゼンテーションを行った。

2015年に発足したJSBは、官庁建築家の海外活動を支援を目的に、15年から日本建築家協会の海外活動委員会と共同開催で建築の講演、シンポジウム、ハノイおよびホーチミンでのトークショーなどを開催。ベトナムを拠点に、日本の建築家や建築家協会などが、ベトナムでの建築業務に関する情報交換や、大学、住宅・木造・ビル・事務所・施設の建設や建築家協会

Media　掲載記事抜粋 －　建設通信新聞　　2018 年 1 月 31 日

THE KENSETSU TSUSHIN SHIMBUN
建設通信新聞
Architectures,Constructions & Engineerings News(Daily)
2018年（平成30年）1月31日（水曜日）（第三種郵便物認可）

緑が街にやって来る
緑化防水工法
カナート
総合防水材料メーカー
日新工業株式会社 東京・千住寿 東京・日本橋久松町

JSB 日本・ベトナム建築フォーラム2018 (上)

人に喜ばれる建築作品を

国際建築活動支援フォーラム（JSB、小倉意間理事長）による日本・ベトナム建築フォーラム2018「グロスコラボレーション住い・都市開発・環境」がベトナム・ホーチミン市で開かれた。かつての日本を思い起こす高度経済成長に沸く現地では、日本を始め世界最新の建築技術の動向を注視する一方、ベトナム建築家協会のメンバーは社会問題や国際的な連携のあり方を冷静に見ている。世界各地で活躍する建築家・槇文彦氏は、現地の若手建築家や建築学生に改めてヒューマニズムの大切さを説き、国内外で大小さまざまなプロジェクトに携わる小林博人慶応大教授は「コミュニティーを巻き込んで得る共感が事業を成功に導く」と、設計者としての心構えを語った。23、24日の2日間にわたるフォーラムの中から今回は講演の様子を紹介する。

時流奔流

潜在的欲望の発見が魅力

槇氏（左）と小林氏

槇氏 時間は経験と記憶の宝庫

「Towards Human Architecture」をテーマに講演した建築家の槇文彦氏。"ヒューマン・アーキテクチャー"と呼ばれる槇氏は、異国の建築家や建築学生に、自らの体験や自作を通じたさまざまな挑戦を紹介しつつ、「人を思う気持ちを大切にすること」の重要性を説き掛けた。

槇氏は「（設計を始めた当初は）世界中の建築家がモダニズムという同じ大きな船に乗っていたものの、やがて大海原に投げ出された。そのうねりの中に自分が見つけたところが"ヒューマニズム"であり、人に喜ばれる建築をつくることだったと、設計思想の根底にある"人"への思いを語った。

代表作の『ヒルサイドテラス』『4WTC』などを紹介しつつ、「設計をするだけではなく完成後に足を運ぶように心掛けている。われわれが予期しなかった使われ方を目の当たりにして、そこから次の計画に向けて学ぶことも多い」と強調。建築家として最もエキサイティングな瞬間を「人々が建築に対してどのような欲望を持っているかを発見したときだ」とし、「建築家に大切なのは潜在的な欲望を見つけられること」と、社会の変革や環境への考え方などが、次代を担う若手にはチャレンジな時代になるのではないか」と、多様化する建築への要求に対し、しっかりと応える姿勢こそが重要だとした。

設計手法についても、「師である丹下健三氏から学んだのは、常にオープンマインドで議論して、一番良いものを求めるということだ。丹下氏の右腕に神谷宏治氏がいたように、自分も同僚との議論の中から多くの

バン氏 相互理解が連携の根幹

ベトナム建築家協会（VAA）のグエン・バン・タット会長は、日本とベトナムの建築家の連携のあり方について、「お互いの文化を学び、特徴を理解する必要がある。建築家としての精神やスタイルを見いだしつつ、共有することが必要だ」と指摘。歴史や文化、社会システムが異なる国同士の建築家を結びつけるためには、より相互理解を深めることが重要だと呼び掛けた。

自身がセルフビルドできる建築づくりに取り組んでいる理由として、「（経済成長が進む中で）いまも農民が8割を占め、特に貧しい地域では自宅を建てられない状況にある。そうした農民たちに建築家がアクセスできていないという現実がある」と、建築家として現地の社会の問題と対峙する必要性を示すとともに、インターネットなどを通じて世界中の建築の情報が瞬時に伝わり、世界的に有名な建築が知られているものの、「ローカルな取り組みで世界的に著名な事例は少ないのではないか」とした。

さらに建築設計事務所などが国を超えて連携する場合、「1者だけが生き残る"戦争"ではなく、同じ条件で互いに理解し、相手が必要としていることを認めれば協力できる。互いに特色ある強みを生かすことが重要だ」と語った。そのうえで、こうした連携では「ベトナム側の立場が弱い」という現状認識をポイントとし、「ベトナムで仕事をする際には、ベトナム人の特色を理解することが、協力や連携の根幹につながる。かつては各国の建築にそれぞれのスタイルがあったが、グローバル化でフラットになり、9割は似ている。残りの1割の中に各国や地域の伝統があり、違いを認識することが連携には重要だ」と、現地で設業・連携する際に必要な構えを説いた。

フン氏 都市開発の知見に期待

ベトナムで建築や都市計画、事業再生などの第一人者として都市開発に30年以上携わってきたタイ・ゴック・フン氏は、日本などの支援で建設が進むホーチミン市地下鉄の開通に向けて課題や都市計画のあり方を紹介。地下鉄で周辺都市とリンクすることにより、ホーチミン市への人口集中が進む一方、交通渋滞や大気汚染の原因となっているバイクからは「一斉に切り替わることはない」と指摘。「駅へのアクセスを含めた周辺開発が経済的にも重要な事業になる」との認識を示した。

地下鉄の全線開通に伴い市内には100カ所以上の駅が新設されるが、「増える人口に対して、さまざまなサービスの展望も必要になる」と受け止めるなら住宅やオフィス、ホテル、学校、商業施設などの機能加えて、駐車場など複合用途化と土地利用の高度化の重要性を説くとともに、歩道や広場など増える歩行者を意識に置いたまちづくりの必要性を訴えた。

人口の急増により郊外に拡大していた開発対象が内向きに戻る「リ・セントラリゼーション」に向けた課題としては、「ポテンシャルはあるものの、統一されたマスタープランがないため、さまざまな民間プロジェクトが個別に進んでいる」と懸念し、統一性がある新たなコミュニティーの形成に向けてTOD（トランジット・オリエンテッド・ディベロップメント）の概念を取り入れた都市計画づくりが必要とした。

経済成長が進む中、同市中心部の地価が急騰しており、不動産の最適化も課題と挙げた。「日本を始め、諸外国の優れた経験を活用して土地を有効活用するなど様々な機能を盛り込んだ新たなコミュニティーが実現できれば、公共交通への転換が図られるのではないか」と、公共交通を基軸とする都市計画を進めてきた日本の知見に期待を寄せた。

槇氏に質問するホーチミンの建築学生

小林氏 身体性を伴う体験継続を

建築家の小林博人慶応大教授（小林・建築デザインワークショップ）は、経済成長が著しいホーチミン市がこれから直面する課題などを紹介。「都市が進化する過程で大きなプロセスを含めた周辺開発が経済的にも重要な事業になる」との認識を示した。

ながらアイデアを具現化していく過程が必要だとした。

国内外の建築設計界を取り巻く環境を、難しい局面に差し掛かっているとし、「国が十分に建築家の権利を認めているかどうかという問題がある。何を次の世代に伝えていくのかを考え、発言していく責任もある」と自らの役割を定義した。

時代を超えて作品をつくり続ける創作意欲の源泉を問う質問には、「建築の継続的な審判者は時間だ。完成から数十年が過ぎた時に初めて建築の価値が問われる。時間は経験と記憶の柔らかな宝庫でもある。（設計を始めた）50年前に比べて、いまはまった く新しい記憶と経験を持っており、未来の仕事に生かしたい」と、衰えぬ創作意欲を示した。

さらに後継者について問われると「すべての人が自分の後継者になり得る。同様に自分の作品はそれぞれ一緒で優劣はない。一番愛おしい瞬間を選ぶこともできない」と、どの作品も等しくあるべきという考えを説いた。

最後に、「建築は絶えずその国の状況に関係せざるを得ないが、目の前で倒れた人がいれば国籍や宗教に関係なく助けるのが人というものだ。その姿勢がこれからの社会ではますます大事になる」と、"ヒューマニスト"の視点で建築設計に取り組んでほしいとのメッセージを伝えた。

国は1947年に制定された会計法と予算決算および会計令、また地方自治法は地方自治法と地方自治法施行令に基づき公共調達が行われ、物品をつくって調達する場合には価格による競争入札である。国や地方自治体が行う物品の購入や役務の調達、資産の売却などの行為は競争入札に付され、価格によって決められる。上限および長期継続契約を含む一定の条件を満たせば、最低価格ではなく、価格と品質などを総合的に評価する方式で、契約の相手方を決めることも可能だ。

この条件を満たせば、最低価格ではなく、価格と品質などを総合的に評価する方式で、契約の相手方を決めることも可能だ。

JSB 日本・ベトナム建築フォーラム2018 ⑰

連携・協業体制のあり方探る

総合的な〝建築力〟で発展を後押し

時流奔流

国際建築活動支援フォーラム（JSB、小倉善明理事長）が1月23、24日にベトナム・ホーチミン市で開いた日本・ベトナム建築フォーラム2018では、出展した10社のうち4社が国内外で積み重ねてきたプロジェクトで得た知見を生かし、現地が抱える課題の解決手法や、協業のあり方などをプレゼンテーションした。その一方、現地の建築家からは「（欧米に比べて）日本の事務所は設計料が高い」「技術移転が進んでいない」など国際的な連携・協業体制のあり方についての本音も寄せられた。後編ではプレゼンテーションや意見交換を中心に、フォーラムに参加した現地で活躍する日本人の若手建築家の声などを紹介する。

濱田明彦JSB評議員が進行を務めたプレゼンテーションでは、JSBが事前に現地の建設省やベトナム建築家協会（VAA）、大学、大使館などを通じて実施したヒアリングから、急速な経済成長や地下鉄開通など都市構造の変革に加えて、地球温暖化に伴うサスティナビリティ・グリーン建築、省エネ技術、アーバンプランニング、集合住宅、プロジェクトマネジメントなどの分野で最新の知見を求める意見が寄せられた。これに対して日本側は、大成建設、日本設計、三菱地所・三菱地所設計グループ、日建ハウジングシステムの4者が、都市開発・建築デザインやマネジメント建設技術、安全・品質管理を含めた総合的な〝建築力〟を紹介した。

日本企業４社が知見をプレゼンテーション

人のつながりで現地展開25年　大成建設

プレゼンテーションでは、大成建設の田口晃氏と太田雅昭氏が、大手町タワーや品川シーズンテラスなどの建築と土木を統合し、総合建設企業の強みを発揮して計画から管理まで一貫して担当したプロジェクトを紹介。「案件ごとに特殊解を積み重ねてきた。蓄積された技術と経験は必ず顧客の最適解に結びつく」と、総合力を強調した。さらに現地子会社と協働したビナタワーズプロジェクトやノイバイ空港など四半世紀にわたるベトナムでの実績を紹介し、「技術に加えて、人と人とのつながりを大切にしてきた。10年、さらにその先を見据えてベトナムの持続的な発展に貢献したい」とした。

交流マインドが事業成功に不可欠　日本設計

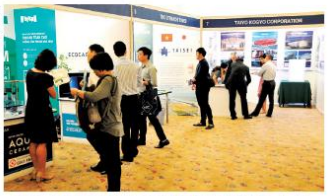
ベトナムの現地法人設立から10年を迎えた日本設計の富永直樹氏は、現地事務所と二人三脚で手掛けた業務を解説した。CONINCOと組んだハノイ検察院合同庁舎、NAG ECCOと協業したカントー大学は「今後の試金石」として、BIMによる設計の自動化と見える化で国際的な協業を実践した。「チーフが現地で寝食をともにすることで、プロジェクトチームとして1つにまとまった」と、日本の技術を積極的に伝えるとともに、休日には居合抜きを披露するなど日本文化の普及にも努めたことを強調。「公私にわたり積極的に交流するマインドが事業を成功に導いた」と振り返りつつ、需要が見込まれるリゾートホテルなどの観光開発分野への関心を示した。

歴史を積み重ね ニーズ変化対応　三菱地所・地所設計G

三菱地所の金城敦彦氏は、アジア地域における10年間の取り組みを踏まえながら、「（誰でもできる）フロア量を拡大する時代から、質が問われ始めた」と現状を分析。さらに地下鉄開通を控えたホーチミン市が抱える課題に対し、同社が120年にわたり取り組んでいる東京・丸の内地区の開発事例をもとに、「まちづくりは歴史を積み重ねつつ、時代のニーズをとらえる必要がある。変化に応じてマスタープランを柔軟に見直す勇気も必要だ」と指摘。「丸の内では30年前から関係者がにぎわいづくりの議論を始めた」と、官民含めたさまざまな関係者が、まちへの思いを1つにするためには長い年月も必要だと語った。

日本のマンションブランド展開支援　日建ハウジング

日建ハウジングシステムの福田朋宏氏は、インドネシアのプミ・スルポン・ダマイ（BSD）市で東急不動産が現地子会社を通じて三菱商事と共同開発している分譲マンション事業「BRANZ BSD藍」を説明。日本のディベロッパーが自社ブランドを国外展開する初めての取り組みで、同社と日建設計、日建スペースデザインによるさまざまな最新の技術や知見を紹介しつつ、建築工事を担う現地企業や設備を担当する新菱冷熱工業、施工を管理するサクラ・プロジェクト・マネジメントの担当者の声を紹介した。



多くの来場者が日本のデザインに興味を示した

対等の立場で協業 技術移転も重要　VAA

一方、グエン・バン・タットVAA会長は、日本とベトナムの設計事務所の協業体制について「主な業務は日本が担当し、われわれは単純な作業が与えられるだけだ。われわれのニーズをとらえる必要がある。変化に応じてマスタープランを柔軟に見直す勇気も必要だ」と指摘。「丸の内では30年前から関係者がにぎわいづくりの議論を始めた」と、官民含めたさまざまな関係者が、まちへの思いを1つにするためには長い年月も必要だと語った。

日本のマンションブランド展開支援　日建ハウジング

日建ハウジングシステムの福田朋宏氏は、インドネシアのプミ・スルポン・ダマイ（BSD）市で東急不動産が現地子会社を通じて三菱商事と共同開発している分譲マンション事業「BRANZ BSD藍」を説明。日本のディベロッパーが自社ブランドを国外展開する初めての取り組みで、同社と日建設計、日建スペースデザインによるさまざまな最新の技術や知見を紹介しつつ、建築工事を担う現地企業や設備を担当する新菱冷熱工業、施工を管理するサクラ・プロジェクト・マネジメントの担当者の声を紹介した。

対等の立場で協業 技術移転も重要　VAA

一方、グエン・バン・タットVAA会長は、日本とベトナムの設計事務所の協業体制について「主な業務は日本が担当し、われわれは単純な作業が与えられるだけだ。われわれのニーズをとらえる必要がある。変化に応じてマスタープランを柔軟に見直す勇気も必要だ」と指摘。「丸の内では30年前から関係者がにぎわいづくりの議論を始めた」と、官民含めたさまざまな関係者が、まちへの思いを1つにするためには長い年月も必要だと語った。

日本企業４社が知見をプレゼンテーション

多くの来場者が日本のデザインに興味を示した

さらに「日本の建築設計事務所は品質が高いものの、欧米の事務所に比べてコストが高い。日本企業が現地企業のライバルとなるケースも増えており、競合相手という認識が広まりつつある」と、警戒感を露わにした上で、「互いの知識を共有することも重要だ」と、具体的な技術移転の手法などを含めて連携・協業のパッケージを示す必要性を説いた。

これに対し、日本設計の富永氏は、「現地法人設立から10年間いろいろあったが、われわれはベトナムの人と一緒に取り組んできた。ドメスティックなことは分からないが、いろいろと議論しながらともに活動してきた」と日本設計としての協業姿勢を説明し理解を求めた。

オールジャパンで海外展開支援も　出展企業

こうした指摘に対して出展企業の担当者に本音を聞いたところ、「東南アジア諸国に進出している欧米の設計事務所は、現地の人を現地の賃金で雇っている〝フランチャイズ〟が多い」との声も。欧米の事務所に依頼したはずが、打ち合わせに来たのは現地のスタッフだけで、「うちに委託し直したケースもある」といった意見も聞かれた。

このほかにも「日本の技術をそのまま持ち込むと8～9割はスペックオーバーになる。スペックダウンではなく提案を〝ローカライズ〟しなければ意味がない」と指摘する人も。その一方、「世界中の最先端の建築技術が集積している。これがベースになることで、ASEAN（東南アジア諸国連合）諸国は、すごいスピードで伸びていくのではないか」と、将来的な日本の技術の先行きを不安視する意見もあった。

また、ASEANを飛び回る担当者からは「即断即決を求められる場面も多く、海外に出ると日本の力が特殊だということがよく分かった」「競合する韓国、中国の企業は、国がバックアップして進出してきている。もっと〝オールジャパン〟で取り組む姿勢が必要ではないかなど、国に企業の海外展開を積極的に支援をする姿勢を求める意見もあった。

日本の若手建築家 ホーチミンで活躍

ホーチミンに拠点を構える日本人建築家の西島氏（左）と佐貫氏

フォーラムにはホーチミンで活躍する日本人建築家、西島光輔氏（ＩｎＲｅＳｔｕｄｉｏ）と佐貫大輔氏（ｓｄａ．）が参加した。日本に留学経験があるベトナム人建築家ヴォ・チョン・ギア氏の事務所にともに勤務後、現地で独立。海外で設計監理活動を展開する若手の声を聞いた。

西島氏「良い部分を引き出したい」

フォーラムにはホーチミンで活躍する日本人建築家、西島光輔氏（ＩｎＲｅＳｔｕｄｉｏ）と佐貫大輔氏（ｓｄａ．）が参加した。日本に留学経験があるベトナム人建築家ヴォ・チョン・ギア氏の事務所にともに勤務後、現地で独立。海外で設計監理活動を展開する若手の声を聞いた。

「クライアントとの力関係や現場の動き方など日本とは相当なギャップがある。デザインにこだわりがある人ほど直接参入するのは難しい」（西島氏）とも。

周辺諸国を見ると「ベトナムやインドネシアは恵まれている。中国や台湾はインテリアが多い、国内でもホーチミンとハノイでは状況がまったく異なる」（佐貫氏）。風水の文化が根強く残るベトナムでは「高格層ほどその傾向が強い。また、先祖を祭る祭壇に定位置があり、階段の段数も縁起を担ぐ」（西島氏）と独特のルールが求められることもある。

今後の活動については「日本に比べて施主のリテラシー（建築に対する理解）がまだまだ低い。文化的な違いもあるが、時間内でしっかりと読み込めるようになれば、ここで仕事をしている意味がある」（西島氏）。「建築を取り巻くコンディションが全く違う中、建築をしっかりと考えるきっかけをつくりたい。カタチとしてベトナムに向けてつくりたいもの、発信していきたい」（佐貫氏）という。ともに機会があれば日本での活動を展開していく考えだ。

佐貫氏「建築を考えるきっかけを」

ベトナム人スタッフを西島氏は2人、佐貫氏は7人抱える。「文化が異なるスタッフをまとめるのは難しい」のが共通認識という中、「自分をベトナム人化せず、外国人であり続けながら、彼らの良い部分を引き出したい」（西島氏）と語る。スタッフの技術力はオートＣＡＤの扱いなど技術的なレベルは高いものの「建築のジャーナルがなく、インターネットから学ぶため、建築を消費するスピードが速い。クリティークや建築を思考する経験が極端に少ない」（同）という。

会話は英語で、現地の言葉を覚える必要はないが、施主とはスタッフを介してベトナム語でやり取りする。「スタッフと考え方をシェアするため、毎日一定時間を割いて自分の考えを伝えている」（西島氏）、「一緒に考えるパートナーになってほしいが、あまり反応は良くない」（佐貫氏）と、内気な国民性もあり、意見を求めるのは難しい。

物価は日本の５分の１程度。設計監理料も相応だが、「仕事で最も厳しいのは時間」と口をそろえる。設計期間は日本の半分以下で、６０００平方㍍規模の学校が設計開始から18カ月で竣工する。日本の若手建築家が経験できない規模や件数の物件を手掛けるが「まったく違う筋肉を鍛えている感覚」（佐貫氏）、

Media　掲載記事抜粋 －　建設通信新聞　　2018 年２月７日

清水・前田ＪＶのホーチミン市都市鉄道１号線ＣＰ１Ｂ工区　日本の高い技術に関心

日本・ベトナム建築フォーラム2018では、清水建設・前田建設工業ＪＶ（河合信之所長）の施工による「ホーチミン市都市鉄道１号線ＣＰ１Ｂ工区」の現場見学も行われた＝写真。ベトナム初のトンネルボーリングマシンによる地下鉄工事には、これまで4,000人以上が訪れており、期待と関心の高さがうかがえる。

同市中心部のオペラハウス駅とパーソン駅、両駅間781㍍を上下２本のトンネルで結ぶ。この見学会は２本目の掘削開始の直前に行われた。

現場には、安全標語の「ＴＨＩＮＫ　ＳＡＦＥＴＹ、ＴＨＩＮＫ　ＦＡＭＩＬＹ」をベトナム語と英語で掲げている。「技能者の７―８割は地方からの出稼ぎ。年に１度テト（旧正月）の帰省を待ち望んでいる」（河合所長）と、無事に家族の元に帰すため、ハーネス着用の徹底を始めとする安全対策とともに、「特に差が出る」というコンクリートや内装、設備などの品質管理に神経を注ぐ毎日だ。

現地の技能者については、「一般工や型枠は作業が少し遅いぐらい。地下の経験がないため切梁は日本から応援を入れた。熟練工が少なく、鉄骨を建てるのも苦手」なのだという。一方、勤勉な国民性もあり「学ぶ意欲はとても高い。日本で技術研修を受けたいという声も多い」とし、トンネル工事も「あと４―５本ほど掘れば現地企業だけで施工できる。日本の企業は、さらにその先の技術を示す必要がある」と力を込める。

Media　掲載記事抜粋 –　Kiến Trúc & Đời Sống

KIẾN TRÚC & ĐỜI SỐNG

CHĂM SÓC TỪNG M² NGÔI NHÀ CỦA BẠN

Diễn đàn Kiến trúc Việt Nam - Nhật Bản 2018 thu hút sự quan tâm của giới chuyên môn

24/01/2018　Tin ảnh: H.H

Ngày 23.1.2018, Diễn đàn Kiến trúc Việt - Nhật đã khai mạc tại khách sạn Rex, thành phố Hồ Chí Minh. Hội trường 350 chỗ ngồi đã chật kín khi diễn giả là những tên tuổi thu hút sự quan tâm của giới kiến trúc sư.

KTS Fumihiko Maki (thứ hai từ trái sang) cùng các khách mời danh dự tại Diễn đàn Kiến trúc Việt - Nhật lần thứ hai

Buổi sáng 23.1.2018, KTS Thái Ngọc Hùng đã trình bày về cơ hội phát triển các khu dân cư quanh các ga tàu điện ngầm của thành phố Hồ Chí Minh. Theo KTS Thái Ngọc Hùng, trong tương lai không xa thành phố Hồ Chí Minh sẽ có 102 ga và nếu được tính toán, đầu tư, đó sẽ là 102 khu dân cư góp phần làm thay đổi cấu trúc đô thị của thành phố.

Bài nói chuyện của KTS Kobayashi Hiroto gây chú ý đặc biệt với khách tham dự bởi những công trình kiến trúc làm bằng gỗ dán cho cácc vùng phải khắc phục hậu quả thiên tai. Cái hay của phương án này là mọi người dân tại chỗ đều có thể tự thi công xây nhà.

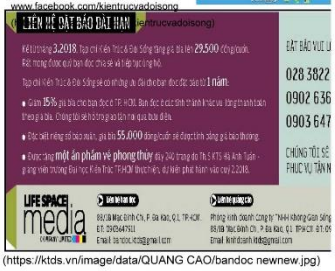
Buổi chiều, KTS Nguyễn Văn Tất trình bày về quan điểm làm nghề kiến trúc là thể hiện văn hóa và nghệ thuật ứng xử của người kiến trúc sư. Ông mở đầu bài nói bằng cách trích dẫn câu nói của đại văn hào Nga Lep Tonstoi rằng "người làm khoa học cần có một tổ quốc" ngụ ý rằng sáng tạo cần đến bản sắc nơi chốn. KTS Nguyễn Văn Tất dẫn chứng từ thực tế một số công trình của mình rằng nếu biết tôn trọng thiên nhiên thì sẽ được hưởng lợi từ thiên nhiên.

Bài nói chuyện của KTS lão thành Fumihiko Maki với đề tài "kiến trúc hướng tới con người (tạm dịch từ nguyên văn "towards humance architecture") thu hút sự quan tâm của giới kiến trúc sư bởi "không phải đơn giản mà chúng ta được gặp một người như cụ Maki, người học trò ruột của Kenzo Tange, KTS thứ 2 của Nhật Bản đạt giải Pritzker" như một KTS đã viết trên trang cá nhân của mình. Một KTS lão thành của Hội Kiến trúc sư thành phố Hồ Chí Minh thì viết: "KTS lão thành Fumihiko Maki năm nay 90 tuổi, vẫn cởi mở, gần làm việc tốt, quý người mà"

Tìm kiếm...

Ấn phẩm Xuân Mậu Tuất với các cây bút: PGS.TS.KTS Nguyễn Khởi, TS.KTS Lê Văn Năm, KTS Nguyễn Trường Lưu, TS Nguyễn Thị Hậu, Hy Hưng, Trầm Hương, Trần Thùy Linh, Nguyễn Trương Quý, Thiên Ý, Nguyễn Vĩnh Nguyên, Hiệp Đỉnh Yến, Vũ Anh Dũng, Vũ Ngọc Vũ, Hoàng Hiệp, Nhân Ái, Thủy Lê, Nguyễn Huy Hoàng, Cao Kỳ Nhân, Đông Giang, Dũng Phạm, Nguyễn Hải, Nguyễn Quang Ngọc, Vũ Tường Chiểu, Nguyễn Thế Anh, Tuấn Nguyễn, Xuân Nguyễn, Phan Huy Hồng Đức, Quang Trần, HAIPIANO Nguyễn...

www.facebook.com/kientrucvadoisong



(https://ktds.vn/image/data/QUANG CAO/bandoc newnew.jpg)

CÁC TIN KHÁC

Cuộc thi "Thiết kế huy chương" của Viện ...

Viện Hàn lâm Kiến trúc Pháp Việt (AAFV) hiện đang tiến hành cuộc thi về" Thiết

Xem tiếp

(https://ktds.vn/n51-tin-

Công bố và trao giải thưởng Kiến trúc thả...

Chuỗi các hoạt động chính chào mừng kỷ niệm 36 năm ngày thành lập Hội kiến trúc

Xem tiếp

(https://ktds.vn/n51-tin-

(https://ktds.vn/n51-

https://ktds.vn/n51-tin-hoi/n3467-dien-dan-kien-truc-viet-nam-nhat-ban-2018-thu-hut-su-quan-tam-cua-gioi-chuyen-mon.html　1/2

６．アンケート用紙

PHIẾU PHỎNG VẤN VỀ DIỄN ĐÀN KIẾN TRÚC

VIỆT NAM-NHẬT BẢN 2018

Trước hết, chúng tôi xin cảm ơn quý vị đã gian tham gia Diễn đàn ngày hôm nay. Rất mong quý vị dành thời gian điền vào Phiếu điều tra dưới đây. Mong quý vị hãy tích giúp vào ô trống ☐ (Có những mục có thể chọn nhiều câu trả lời khác nhau).

Ở mặt sau cũng có phần trả lời câu hỏi. Mong quý vị viết giúp chúng tôi những nội dung cần thiết vào ô trả lời đó.

1. Lý do quý vị tham gia Diễn đàn lần này (Có thể chọn nhiều câu trả lời)
☐Vì có quan tâm đến kiến trúc, hoạt động phát triển đô thị, môi trường Nhật Bản
☐Vì quan tâm đến dự án mà các doanh nghiệp giới thiệu (Tên doanh nghiệp)
☐Vì quan tâm đến diễn giả (Tên diễn giả)
☐Vì được mời và khuyên nên tham gia (Tên người mời)

2. Xin được hỏi về nội dung buổi diễn giảng mà quý vị tham gia
(Chỉ chọn 1 bài diễn giảng)
☐Rất có giá trị tham khảo ☐Có giá trị tham khảo ☐Bình thường ☐Không có giá trị tham khảo

2-1 Tại sao quý vị lại cho là có giá trị tham khảo?
☐Vì nội dung cụ thể
☐Vì có thể có tác dụng giải quyết những vấn đề ở hiện trường hiện nay
☐Vì có những thông tin mới mà nếu chỉ ở hiện trường thì không có được
☐Vì có thể hữu ích trong công việc kinh doanh

2-2 Tại sao quý vị lại cho là không có giá trị tham khảo?
☐Nội dung chung chung, không cụ thể
☐Không có tác dụng giải quyết những vấn đề ở hiện trường hiện nay
☐Không thể có điều kiện để áp dụng ở hiện trường
☐Không phát triển kinh doanh được

3. Lĩnh vực nào có giá trị tham khảo
(Có thể chọn nhiều câu trả lời)
☐Thiết kế kiến trúc ☐Xây dựng, kỹ thuật, phương pháp thi công
☐Phát triển đô thị ☐Vấn đề môi trường ☐Thiết bị, nguyên liệu
☐Lĩnh vực khác

4. Bài phát biểu của doanh nghiệp nào là hay nhất (Quý vị hãy chọn từ các bài phát biểu đã nghe. Có thể chọn nhiều câu trả lời khác nhau).
( )

5. Đối với Việt Nam hiện nay đâu là vấn đề cần giải quyết trong các lĩnh vực kiến trúc, phát triển đô thị, môi trường?
(Từ Câu hỏi 5 đến Câu hỏi 8 có thể lựa chọn nhiều câu trả lời khác nhau)
☐Nhà ở, chung cư ☐Công trình công cộng ☐Trung tâm thương mai
☐Trường học ☐Cơ sở hoạt động văn hóa ☐Phát triển đô thị
☐Cơ sở hạ tầng giao thông ☐Vấn đề môi trường (Không khí, nguồn nước uống, năng lượng, nước thải, hệ thống xử lý nước mưa)
☐Các vấn đề khác ( )

6. Yếu tố mà quý vị coi trọng khi xây dựng một công trình nhà ở, kiến trúc là gì?
☐Tính thông thoáng, dễ chịu ☐Tính an toàn ☐Độ bền của công trình
☐Tính năng của công trình ☐Cấu trúc ☐Giá thành
☐Thời kỳ thi công ☐Bảo dưỡng, duy tu ☐Ngoại quan
☐Cách bố trí không gian trong các phòng ☐Nội thất
☐Môi trường, tỷ lệ cây xanh ☐Nhà thầu thiết kế ☐Công ty xây dựng

7. Theo quý vị, vấn đề vướng mắc trong việc phát triển ngành kiến trúc, xây dựng ở Việt Nam hiện nay là gì?
☐Thiết kế ☐Kỹ thuật xây dựng ☐Quản lý thi công
☐Chất lượng của trang thiết bị, nguyên vật liệu ☐Thiếu năng lực kỹ thuật
☐Đào tạo kỹ sư ☐Luật pháp ☐Hệ thống cấp chứng chỉ trong ngành kiến trúc
☐Thói quen trong kinh doanh ☐Việc đảm bảo nguồn vốn
Vấn đề khác ( )

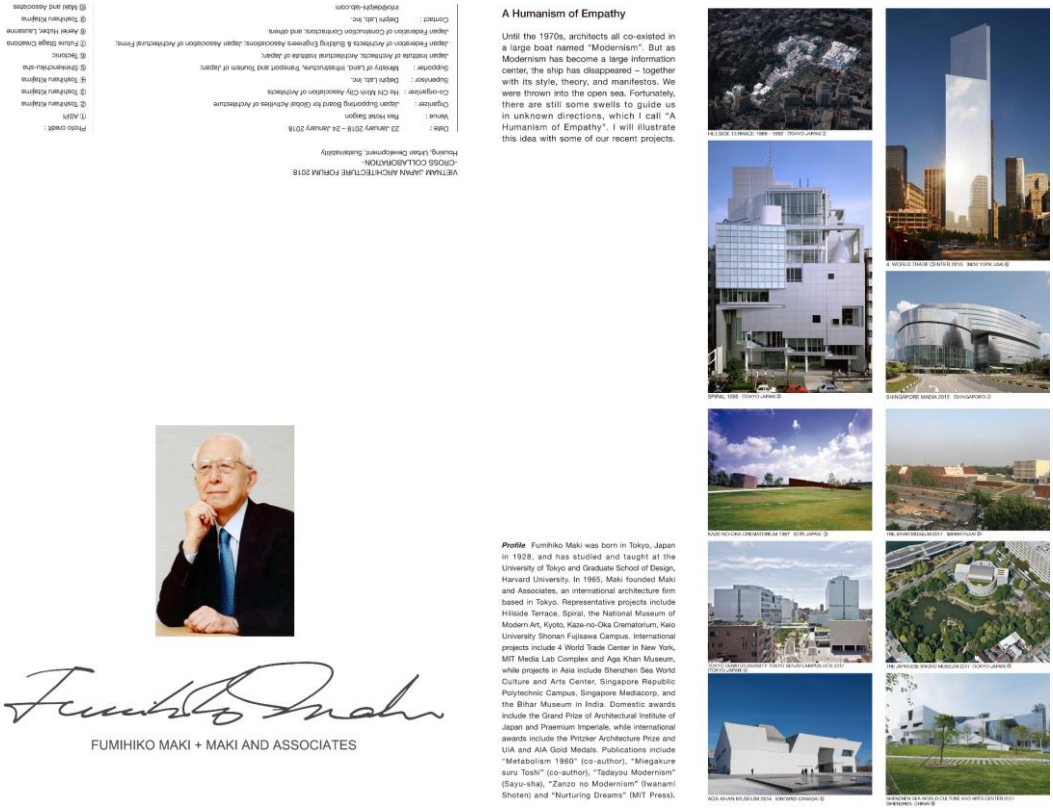
8.Kinh nghiệm, kỹ thuật, thông tin mà quý vị muốn biết trong lĩnh vực kiến trúc, phát triển đô thị, môi trường ở Nhật là gì?
☐Thiết kế ☐Kỹ thuật xây dựng ☐Quản lý thi công
☐Điều chỉnh giá thành ☐Trang thiết bị, nguyên vật liệu, thông tin
☐Cách thức nâng cao chất lượng công trình kiến trúc
☐Cách thức đào tạo kỹ sư thiết kế, thi công ☐Hệ thống đào tạo
☐Quy định luật pháp

9. Quý vị có nguyện vọng "Diễn đàn Kiến trúc Việt Nam-Nhật Bản" được tổ chức trong những năm tới không?
☐Nên tổ chức liên tục ☐Không cần thiết

７．印刷物

印刷物　事前予告ポスター

印刷物　槇文彦建築展（チラシ 当日配布）



印刷物　フォーラムプログラム（当日配布）

Phát biểu về dự án 1

Akira Taguchi
TAISEI CORPORATION
田口 晃　大成建設株式会社

Masaaki Ota
TAISEI CORPORATION
太田 雅昭　大成建設株式会社

Tòa tháp Otemachi
Trên nền tảng hoạt động phát triển quy mô lớn "Khu rừng thiên nhiên" tại trung tâm kinh tế của Nhật Bản, chúng tôi đang tìm những phương án kết hợp giữa hai phía Việt Nam và Nhật Bản trong việc phát triển đô thị ở hai dự án dưới đây:
1. Tháp Otemachi – Tái tạo đô thị và tái tạo tự nhiên -
2. Hướng tới sự hợp tác chéo trên nhiều lĩnh vực khác nhau với phía Việt Nam

Taguchi Akira :
Giám đốc Ban Thiết kế kiến trúc, Tập đoàn Taisei
Dự án kiến trúc quy mô lớn liên quan đến phát triển đô thị, văn phòng như Tháp Otemachi, Tokyo, 2-10, Dự án Teranomon/Tokyo (Đang xây dựng)

Ota Masaaki :
Trưởng Phòng thiết kế quốc tế, Ban thiết kế quốc tế
Trưởng đại diện Văn phòng thiết kế Hà Nội- Tập đoàn Taisei
Nhiều dự án ở nước ngoài như cơ sở sản xuất và nhà máy.
Tháng 5 năm 2016, Ban thiết kế, xây dựng của Tập đoàn Taisei thành lập Văn phòng thiết kế Hà Nội đã được thành lập như là một chi nhánh của thiết kế. Ota Masaaki là Trưởng đại diện Văn phòng kể từ khi thành lập cho đến nay. Các dự án đã thực hiện: Nhà ga số 2, Sân bay Quốc tế Nội Bài, Tòa nhà Vinata Hà Nội / Hà Nội.

Phát biểu về dự án 2

Naoki Tominaga
NIHON SEKKEI, INC.
富永 直樹　株式会社日本設計

Vũ các phương pháp thiết kế được cải tiến cho hoạt động hợp tác chéo
Đây là Ban thứ 2 chúng tôi được phát biểu trong Diễn đàn. Trong lần này chúng tôi sẽ giới thiệu về các phương pháp thiết kế cụ thể thông qua 2 dự án đang tiến hành ở Việt Nam để có thể thấy được trong quá trình từ khi đưa ra ý tưởng về chủ đề cho đến khi hoàn thành công trình thì người Việt Nam và Nhật Bản vốn có sự khác biệt về văn hóa đã chia sẻ suy nghĩ của mình như thế nào.

Tominaga Naoki :
Trưởng nhóm dự án tại nước ngoài
Năm 1990 tốt nghiệp cao học Chuyên ngành Kiến trúc, xây dựng, Đại học Meiji và vào làm việc tại Công ty TNHH Nihon Sekkei. Từ năm 1995 đến nay đã phụ trách nhiều dự án ở Nhật Bản và nước ngoài. Đã thực hiện nhiều dự án về khu liên hợp, khu làm việc của các cơ quan hành chính địa phương, trường đại học, bệnh viện, chung cư ở 14 quốc gia khác nhau. Kể từ năm 2013, trong 4 năm trở lại đây thường trú tại Việt Nam với tư cách là Giám đốc Công ty TNHH Nihon Sekkei Việt Nam kiêm Trưởng nhóm dự án quốc tế. Từ tháng 10 năm 2016 giữ chức vụ hiện nay.

Phát biểu về dự án 3

Yousuke Takahashi
Mitsubishi Jisho Sekkei Inc.
高橋 洋介　株式会社三菱地所設計

Atsuhiko Kinjo
Mitsubishi Estate Co., Ltd.
金城 敦彦　三菱地所株式会社

Hoạt động tái tạo Marunouchi, trung tâm thương mại hàng đầu Nhật Bản
Tập đoàn Mitsubishi Jisho của chúng tôi đã xây dựng, tái tạo và vận hành khu trung tâm thương mại hàng đầu của Nhật Bản là Marunouchi trong suốt hơn 100 năm trở lại đây. Trong Bản tài tạo lần thứ 3 được thực hiện từ năm 2000, với sự hợp tác hiệu quả giữa các cơ quan nhà nước và các doanh nghiệp, tổ chức tư nhân, hoạt động tái tạo một cách tổng hợp ở mức độ cao đã được thực hiện và khu phố đã được quản lý một cách có hệ thống, trở thành điểm đến yêu thích của nhiều người. Trong Diễn đàn lần này, chúng tôi sẽ trình bày về các hoạt động cải tạo, vận hành khu phố với tư cách là chủ sở hữu lớn nhất.

Yosuke Takahashi :
Trưởng phòng Kinh doanh nước ngoài Công ty TNHH Mitsubishi Josho Sekkei
Năm 1990: Tốt nghiệp thạc sĩ tại Đại học quốc gia Yokohama và vào làm việc tại Bộ phận Thiết kế, xây dựng 1, Công ty TNHH Mitsubishi Jisho
Năm 2001: Chuyển sang làm việc tại Công ty TNHH Mitsubishi Josho Sekkei Năm 2014: Trưởng phòng Dự án tại nước ngoài Năm 2017: Trưởng phòng kinh doanh tại nước ngoài

Atsuhiko Kinjo :
Giám đốc Bộ phận xúc tiến phát triển Công ty TNHH Mitsubishi Josho
Năm 1986: Tốt nghiệp cử nhân ngành công nghệ, Đại học Waseda và vào làm việc tại Viện nghiên cứu quy hoạch mới trường đô thị
Năm 1993: Vào làm việc tại Phòng dự án quy hoạch đô thị, Công ty TNHH Mitsubishi Jisho
Năm 2013: Làm việc tại Bộ phận xúc tiến phát triển
• Chánh văn phòng Hội đồng OMY (Hội đồng Phát triển và Quản lý của trung tâm thương mại Otemachi, Marunouchi, Yurakucho)
• Thành viên Ban chấp hành Hiệp hội phát triển Du lịch Thành phố Chiyoda
• Ủy viên của Hội nghị bàn tròn về chống lại sự nóng lên toàn cầu của Thành phố Chiyoda

Phát biểu về dự án 4

Tomohiro Fukuda
Nikken Housing System Ltd
福田 朋宏　株式会社 日建ハウジングシステム

Xây dựng chung cư ở Indonesia với chất lượng Nhật Bản
Đây là dự án chung cư cao tầng được thiết kế bởi thành phố BSD, một đô thị mới ven đô Jakarta. Trong kế hoạch tổng thể thì dự tính sẽ chia làm 4 thời kỳ với 3000 căn hộ và hiện nay đã thi công được 3 tòa của Kỳ 1 (bao gồm 1256 căn hộ). Vì đây là chung cư cao tầng đầu tiên của những người đứng đầu doanh nghiệp Nhật Bản ở Indonesia, nên chúng tôi đã hướng tới việc tạo ra mối trường sống hấp dẫn với chủ đề Chất lượng Nhật Bản và Thông minh.

Tomohiro Fukuda :
Giám đốc Ban giám sát thiết kế, Công ty cổ phần Nikken Housing System
Sau khi tốt nghiệp thạc sĩ tại Hệ cao học, Trường đại học công nghiệp Shikaura vào năm 1988 đã vào làm việc tại Công ty cổ phần Nikken Housing System. Tham gia thiết kế, thi công nhiều công trình nhà ở khác nhau và được nhận Giải thưởng thiết kế xuất sắc tại cuộc thi thiết kế tòa tháp Capital Mark Tower, Giải thưởng kiến trúc văn hóa Tỉnh Chiba. Hiện nay đang làm việc chủ yếu trong các dự án ở nước ngoài.

LẦN THỨ 2
DIỄN ĐÀN KIẾN TRÚC VIỆT NAM-NHẬT BẢN 2018
日本･ベトナム建築フォーラム 2018
Forum

23/1 9h00-18h
24/1 9h30-16h

Diễn đàn 1　23/1/2018　(Có kèm dịch cabin Việt-Nhật)
Dẫn chương trình *Hamada Akihiko* (Chuyên gia đánh giá JSB)
Đồng dẫn chương trình KTS. Vũ Việt Anh

9:00	9:20	Phát biểu khai mạc
9:20	10:30	Phần 1
		Diễn giảng ***KTS. Thai Ngoc Hung***
		Diễn giảng ***KTS. Kobayashi Hiroto***
10:30	10:50	Coffee Break
10:50	12:20	Phần 2 Trình bày về dự án đang thực thi (Mỗi dự án 35 phút) Giới thiệu các trường hợp thực hiện dự án phát triển đô thị ở Châu Á và Nhật Bản từ quan điểm phát triển đô thị, thiết kế, thi cô
		Phát biểu về dự án 1 ***Tập đoàn Taisei***
		Phát biểu về dự án 2 ***Công ty TNHH Nihon Sekkei***
		Hỏi đáp đối với các doanh nghiệp đã phát b
12:20	13:30	Lunch Break
13:30	15:30	Phần 3 Diễn giảng ***KTS. Nguyễn Văn Tất*** Diễn giảng đặc biệt ***KTS. Maki Fumihiko*** Hỏi đáp
15:30	15:50	Coffee Break
15:50	17:00	Phần 4 Phát biểu về dự án 3 Công ty TNHH ***Mitsubishi Jisho Sekkei*** Phát biểu về dự án 4 Công ty TNHH ***Nikken Housing System***
17:00	17:30	Trao đổi và hỏi đáp

24/1/2018

10:30	12:00	Chương trình đặc biệt Thăm hiện trường xây dựng và không gian nhà ga Tuyến tàu điện ngầm số 1, Tp. Hồ Chí Minh (Cần đăng ký trước)
12:00	13:00	Lunch Break

Diễn đàn 2　(Có kèm dịch cabin Việt-Nhật)
Dẫn chương trình Hamada Akihiko (Chuyên gia đánh giá JSB)

13:00	14:00	Diễn giảng ***KTS. Kobayashi Hiroto***
14:00	15:20	Diễn giảng ***KTS. Maki Fumihiko*** Nói chuyện với các kiến trúc sư trẻ và sinh viên về đề tài "Kiến trúc theo phong cách Maki Fumihiko" Trao đổi, hỏi đáp

Forum 1　23/1/2018　(日・越通訳同時通訳付)
総合司会　浜田明彦（JSB 評議員）
モデレータ　建築家　Vu Viet Anh

9:00	9:20	開会のあいさつ
9:20	10:30	第一部
		講演　建築家　Thai Ngoc Hung
		講演　建築家　小林博人
10:30	10:50	コーヒーブレイク
10:50	12:20	第二部 実施プロジェクト発表（各 35 分） アジア・日本における都市開発プロジェクトの取り組みを、設計・施工・都市開発の視点から事例紹介する
		実施プロジェクト発表① 大成建設
		実施プロジェクト発表② 日本設計
		質疑応答・質疑
12:20	13:30	ランチブレイク
13:30	15:30	第三部
		講演　建築家　Nguyen Van Tat
		特別講演　建築家　桂文彦
		質疑応答
15:30	15:50	コーヒーブレイク
15:50	17:00	第四部
		実施プロジェクト発表③ 三菱地所設計
		実施プロジェクト発表④ 日建ハウジングシステム
17:00	17:30	質疑応答によるトークおよび質疑応答

24/1/2018

10:30	12:00	特別設定施 ホーチミン地下鉄 1 号線駅舎空間及び開発現場見学会 （事前申し込み者）
12:00	13:00	ランチブレイク

Forum 2　(日・越通訳同時通訳付)
総合司会　浜田　明彦（JSB 評議員）

13:00	14:00	講演　建築家　小林博人
14:00	15:20	講演　建築家　桂文彦 若い建築家と学生に「桂文彦建築を語る」 トーク・質疑

Địa điểm : Khách sạn REX　HCMC, Vietnam
Cơ quan chủ trì : Quỹ hỗ trợ hoạt động kiến trúc quốc tế (JSB)
Cơ quan đồng tổ chức : Hiệp hội Kiến trúc sư Thành phố Hồ Chí Minh (HAA)
Cơ quan chủ quản : Viện nghiên cứu Delphi

Keynote Lecturer

Fumihiko Maki
Architect
槇　文彦 建築家

A Humanism of Empathy

Until the 1970s, architects all co-existed in a large boat named "Modernism".
But as Modernism has become a large information center, the ship has disappeared – together with its style, theory, and manifestos.
We were thrown into the open sea. Fortunately, there are still some swells to guide us in unknown directions,
which I call "A Humanism of Empathy". I will illustrate this idea with some of our recent projects.

Sinh năm 1928 tại Tokyo. Tốt nghiệp cử nhân Chuyên ngành Kiến trúc, Khoa Công nghệ, Đại học Tokyo. Tốt nghiệp thạc sĩ tại Viện cao học, Đại học Harvard. Sau đó giảng dạy ở Đại học Harvard và Đại học Tokyo.

Năm 1965 thành lập Văn phòng quy hoạch tổng hợp Maki tại Tokyo. Công trình kiến trúc tiêu biểu có thể kể đến như Ia Hillside terrace, Spiral, Bảo tàng Mỹ thuật cận đại Quốc gia Kyoto, Đài hoàn vũ Kaze-no-Oka, Campus Shonan Fujisawa của Đại học Keio Gijuku…Ở Âu Mỹ đã thực hiện thiết kế các công trình Trung tâm thương mại thế giới 4 (Four World Trade Center) ở NewYork, Viện nghiên cứu truyền thông MIT, Bảo tàng Aga Khan. Ở Châu Á có các công trình như Trung tâm Nghệ thuật văn hóa thế giới Thâm Quyến Thượng Hải, Campus Trường chuyên ngành công nghệ Singapore, Trung tâm MediaCorp Singapore, Bảo tàng Bihar của Ấn Độ…

Các giải thưởng đã được nhận trong nước như Giải thưởng Hội nghiên cứu kiến trúc Nhật Bản, Giải thưởng văn hóa thế giới kỷ niệm của Hoàng thân Takamatsu-no-Miya. Giải thưởng ở nước ngoài: Giải thưởng kiến trúc Pritzker, Huy chương vàng của Hiệp hội Kiến trúc sư quốc tế (UIA) và Hiệp hội Kiến trúc sư Hoa Kỳ (AIA). Trước tác bao gồm "Vẻ Phong trào Metabolism năm 1960" (Đồng tác giả), Đô thị với những đường nét thiết kế kín và hở" (Đồng tác giả), Nét hiện đại trong kiến trúc (NXB. Sayusha), Chủ nghĩa hiện đại trong những công trình kiến trúc (NXb. Iwanami Shinsho), Nuôi dưỡng ước mơ (NXB. MIT)…

Speaker

Hiroto Kobayashi
Architect
建築家

Empathic Design –Veneer House Experience–

Kiến trúc sư, Giáo sư Khoa chính sách và truyền thông, Hệ cao học, Đại học Keio Gijuku.

Học về thiết kế kiến trúc, quy hoạch đô thị bậc cử nhân, cao học tại Đại học Kyoto và cao học tại Trường thiết kế, Đại học Harvard (GSD). Tham gia thiết kế tại các doanh nghiệp như Nikken Sekkei và Foster and Partners. Từ năm 1999 đến năm 2000 nhận Học bổng Fulbright và trở thành Nghiên cứu viên khách mới của Trường thiết kế, Đại học Harvard. Năm 2003 được nhận học vị tiến sĩ từ Trường thiết kế, Đại học Harvard. Cùng năm đã xây dựng Workshop thiết kế Kobayashi Maki (tức Kobayashi Maki Design Workshop: KMDW) cùng với KTS. Maki Nacem. Hiện nay có văn phòng đặt tại Tokyo và Berkeley, bang California, Hoa Kỳ. Đại diện Tập đoàn SOM (Skidmore Owings and Merrill LLP) của Hoa Kỳ tại Nhật Bản. Từ năm 2003 đến năm 2005 là Nghiên cứu viên khách mới tại Trường thiết kế, Đại học Harvard. Từ năm 2011 đến năm 2012 là Phó giáo sư khách mới tại Học viện công nghệ Massachusetts. Từ năm 2012 đến năm 2013 là Nghiên cứu viên, Viện nghiên cứu Nhật Bản tại Đại học California tại Berkeley. Năm 2017 là Giáo sư khách mới Đại học Ljubljana, Slovenia.

Tại Trường thiết kế, Đại học Harvard đã tiến hành nghiên cứu về Cho (chữ Hán viết là "Diêm", tạm dịch là "Phường", tức một đơn vị hành chính, dân cư), tức một hình thái cộng đồng truyền thống của Nhật Bản. Hiện nay, cùng với các hoạt động thiết kế ở trong và ngoài nước, tư vấn quy hoạch, xây dựng đô thị thì từ sau Trận đại động đất sông Thần ở miền Đông Nhật Bản vào năm 2011 còn phát triển hoạt hình nhà Veneer House, tức kiến trúc mà người sử dụng có thể tự lắp ghép một phần một cách đơn giản, trong đó sử dụng kỹ thuật chế tạo kỹ thuật số (Digital Fabrication) và lắp ghép các tấm gỗ (Engineered Wood). Ngoài ra còn tiến hành nghiên cứu các cách thức duy trì cộng đồng một cách bền vững.

Speaker

Nguyễn văn Tất
Architect
建築家

Đại văn hào Nga Lev Tolstoy có nói : " ngay cả nhà khoa học vẫn cần có một tố quốc"
để ngụ ý những người làm sáng tạo càng cần phải có bản sắc tâm hồn, bản sắc của nơi chốn.
Kiến trúc chắc chắn không ngoại lệ.Trên bước đường hành nghề kiến trúc ,
tôi có may mắn trải nghiệm và rút ra vài nguyên tắc cho mình qua vài công trình cụ thể.

• UIA đã từng có những cuộc thi với tuyên ngôn " kiến trúc hài hoà với nơi chốn, KTS sư phục vụ người sử dụng, người tự tạo dựng lấy chỗ ở của mình" (nhà ở vùng đất bồi ngập mặn Năm Căn-Cà Mau/ giải thưởng quốc tế Arch'79)
• Để đối thoại trực tiếp hiệu quả với nhu cầu người sử dụng đối khi phải nướng chịu sự đồng đành của địa hình và lều lính chấp nhận giải pháp "kiến trúc không có mặt đứng" (Phanthiet- Pansea Resort / giải thưởng VHNT Nhà nước 2005)
• Trân trọng thiên nhiên ,chọn lựa giả trị chủ đạo của thiên nhiên đối khi không đơn thuần là đối phó với sự khó khăn mà còn được nhận lấy quà ngọt từ giá trị cảnh quan biển vững và vô cùng tiết kiệm. (Saigonmuine Resort 1998/ GT KTQG-trụ sở Huyện uỷ Vũng Liêm 2015/GT.KTQG)
• Ủng xử với lợi ích tốt nhất của thân chủ, hanh phúc làm nghề đến với KTS bất chấp công trình to hay nhỏ. (Ngôi nhà 4x7, Ngôi nhà studio ..)
• Tôi dần đã nhận ra việc đi tìm giá trị nội hàm bền vững cho tác phẩm kiến trúc ngoài kỹ năng và cả tính trước tiên cần sự thành thật, chu đáo,không quá chủ trong phổ diễn cái tôi. Tác phẩm kiến trúc là công trình xây dựng được nhiều nơi bằng văn hoá và nghệ thuật ứng xử của NGƯỜI- kiến trúc sư (bộ sách Hoi thở nhiệt đới)

Speaker

Hiroto Kobayashi
Architect
建築家

Empathic Design –Veneer House Experience–

Kiến trúc sư, Giáo sư Khoa chính sách và truyền thông, Hệ cao học, Đại học Keio Gijuku.

Học về thiết kế kiến trúc, quy hoạch đô thị bậc cử nhân, cao học tại Đại học Kyoto và cao học tại Trường thiết kế, Đại học Harvard (GSD). Tham gia thiết kế tại các doanh nghiệp như Nikken Sekkei và Foster and Partners. Từ năm 1999 đến năm 2000 nhận Học bổng Fulbright và trở thành Nghiên cứu viên khách mới của Trường thiết kế, Đại học Harvard. Năm 2003 được nhận học vị tiến sĩ từ Trường thiết kế, Đại học Harvard. Cùng năm đã xây dựng Workshop thiết kế Kobayashi Maki (tức Kobayashi Maki Design Workshop: KMDW) cùng với KTS. Maki Nacem. Hiện nay có văn phòng đặt tại Tokyo và Berkeley, bang California, Hoa Kỳ. Đại diện Tập đoàn SOM (Skidmore Owings and Merrill LLP) của Hoa Kỳ tại Nhật Bản. Từ năm 2003 đến năm 2005 là Nghiên cứu viên khách mới tại Trường thiết kế, Đại học Harvard. Từ năm 2011 đến năm 2012 là Phó giáo sư

Speaker

Thai Ngoc Hung
Architect
建築家

Ý TƯỞNG ĐỊNH HƯỚNG QUY HOẠCH PHÁT TRIỂN KHU VỰC CHUNG QUANH CÁC GA TÀU ĐIỆN TẠI TP.HỒ CHÍ MINH

Thành phố Hồ Chí Minh là một đô thị đặc biệt và sẽ là một siêu đô thị (Megacity) hạt nhân của vùng Tp Hồ Chí Minh (Gồm Tp. Hồ Chí Minh và các tỉnh Bình Dương, Bình Phước, Tây Ninh, Long An, Tiền Giang, Đồng Nai, Bà Rịa Vũng Tàu) với dân số hơn 10 triệu và dân số vùng từ 23-25 triệu vào năm 2030. Để có thể cạnh tranh và sánh vai với các đô thị thuộc các nước khu vực ASEAN trong 20 năm tới, công tác chính trang và phát triển đô thị trở nên vô cùng quan trọng và cấp bách.

Việc phát triển hệ thống các tuyến tàu điện ngầm (Metro) đã tạo ra một bước ngoặc quan trọng sẽ làm thay đổi phương tiện giao thông của người dân thành phố và gần như thay đổi toàn bộ cấu trúc đô thị hiện hữu. Việc phát triển tự phát thiếu kế hoạch, thiếu tính hệ thống, thiếu sự đồng bộ và phối hợp giữa các cơ quan chính quyền và các bên liên quan dẫn đến sự hoạt động thiếu hiệu quả và lãng phí vốn đầu tư các tuyến tàu điện ngầm (Metro). Vì vậy đã có thể tối ưu hóa các lợi ích do hệ thống vận chuyển nay mang lại cho việc chính trang phát triển đô thị và tăng trưởng kinh tế cần phải có chiến lược quy hoạch phát triển khu vực chung quanh các nhà ga tàu điện (Transit-Oriented Development- TOD).

Để đóng góp ý tưởng cho chương trình chính trang đô thị Tp. Hồ Chí Minh, các đề xuất trong bài nói chuyện của KTS Thái Ngọc Hùng là những gợi ý cho một tầm nhìn dài hạn để các cơ quan hữu quan có chiến lược đầu tư phát triển thích hợp nhằm tạo ra những đột phá trong việc chính trang và phát triển đô thị để tăng trưởng nhanh, đưa chất lượng cuộc sống của người dân thành phố lên mức cao hơn.

Master of forum

Akihiko Hamada
Architect JSB Councilor
濱田 明彦 建築家

As a Principal Architect who conducted 8 design studios for domestic/international projects, Mr. Hamada played a leading role in overall design process with a number of projects in Japan as well as overseas. The projects he had engaged vary from large-scale office headquarters, spec offices to university campuses and museums. His intensive management skill and dedication to pursue higher standards always satisfies his clients such as TOYOTA, NEC, Walt Disney, 3M, Waseda University, foreign governments and other parties. One of the significant projects he contributed is NEC Renaissance City, which received The Earth Environment Grand Prize, Energy Savings Award of Ministry of the Environment of Japan, and many other notable awards. His presence in design industry is an asset for the academic society, where he teaches architectural design in university.

Moderator

Vũ Việt Anh
Architect
建築家

Mr. Vu Viet Anh has 13 years experience in architecture and landscape architecture. He is the founder and design principal of TA Landscape Architecture. Through his practice, he has won international and domestic awards in landscape architecture. Furthermore, he is also engage in many training courses and research as a lecturer of University of Architecture Ho Chi Minh City. He is also the Chief of Postgraduate Training and International Relations of the university to get involved in many international corporation activities in terms of both academics and professionals.

印刷物　展示案内パンフレット（当日配布）

LẦN THỨ 2

DIỄN ĐÀN KIẾN TRÚC VIỆT NAM-NHẬT BẢN 2018

日本･ベトナム建築フォーラム 2018

Exhibition

23/1 9h00-18h

24/1 9h30-16h

00 AGC ASIA PACIFIC PTE LTD
AGC グループ

Tập đoàn AGC cung cấp trên diện rộng các nguyên vật liệu và giải pháp trong lĩnh vực kiến trúc, xây dựng cơ sở hạ tầng dựa trên kỹ thuật sử dụng kính, chất hóa học, sứ. Trong lần triển lãm này, chúng tôi sẽ giới thiệu kín trang trí mặt tiền kiến trúc, pin chạy bằng năng lượng mặt trời liền với kính, các vật liệu chống trơn. Ở Việt Nam, Tập đoàn AGC sẽ đặt trung tâm tại Công ty AGC Việt Nam AGC Chemicals Vietnam Co., Ltd để mở rộng hoạt động trên các lĩnh vực trên.

● Địa chỉ liên lạc
Điện thoại: +65-6273-5656
E-mail: aap.enquiry@agc.com

http://agc-asiapacific.com/

01 FoneN VIETNAM CO.,LTD
株式会社エフワンエヌ

Lớp chống thấm đóng vai trò quan trọng trong việc đảm bảo tuổi thọ lâu dài cho công trình xây dựng. Phương pháp chống thấm bằng màng AXSP mà chúng tôi giới thiệu trong Diễn đàn lần này được phối hợp cùng phía Nhật Bản bảo hành chống thấm 10 năm. Kỹ thuật này không chỉ có tác dụng chống thấm nước, mà còn có chức năng cách nhiệt giúp cải thiện nhiệt độ môi trường.

● Địa chỉ liên lạc
Trụ sở chính
Số, 23, đường Phùng Khắc Khoan, Phường Đa Kao, Quận 1, Tp. Hồ Chí Minh
Tel: +84 28 3829 3554 Fax: +84 28 3827 7046
Chi nhánh Hà Nội :
100 Thượng Đình, phường Thượng Đình, Quận Thanh Xuân, Tp. Hà Nội
Tel : +84 24 3782 4272 Fax : +84 24 3782 4271

http://fonen.co.jp/en

02 VIETNAM TAKENAKA CO.,LTD
株式会社 竹中工務店

1) Giới thiệu về Tập đoàn Takenaka
2) Giới thiệu các dịch vụ mà Tập đoàn cung cấp ở Việt Nam
Hiện nay mạng lưới của chúng tôi đã lan rộng toàn thế giới. Không chỉ đối với các doanh nghiệp ở các địa phương đang thực hiện dự án trong nhiều lĩnh vực khác nhau như xây dựng sân bay, tòa nhà văn phòng cao tầng, khách sạn, nhà xưởng sản xuất, bảo tàng…, mà còn tham gia vào nhiều dự án khác nhau của nhà nước. Hoạt động của chúng tôi không chỉ giới hạn trong lĩnh vực xây dựng, thiết kế mà còn mở rộng sang nhiều lĩnh vực khác nhau như hướng dẫn, tư vấn kỹ thuật, điều động vật tư, nguyên liệu.

● Địa chỉ liên lạc:
Bộ phận phát triển kinh doanh :
Tầng 4, Tòa nhà HD Tower, Số 25, Nguyen Thi Minh Khai, Quận 1, Tp.HB Chí Minh
Tel : +84.8.3822 7730, Fax : +84.8.3822 7740
MASAMICHI YAMAGUCHI /MR.
E-mail Yamaguchi.masamichi@takenaka.co.jp
NGO NGHI CUONG /MR.
E-mail: cuong.ngo@takenaka.com.vn

http://www.takenaka.asia
http://www.takenaka.co.jp/takenaka_e/

03 *BRANZ BSD(A1) - Nikken Sekkei Group Projects*
NIKKEN HOUSING SYSTEM LTD
株式会社日建ハウジングシステム

Chúng tôi sẽ trưng bày thành quả của Dự án BRANZ BSD A1, Dự án của Công ty cổ phần thiết kết Nikken Sekkei và Nikken Housing System ở tiểu bạn. Ngoài ra sẽ trình chiếu về dự án bằng videoclip.

● Địa chỉ liên lạc
Điện thoại: +81-90-6569-8246
Email : fukuda_nhs@nikken.jp

https://www.nikken-hs.co.jp/en/what-we-do/global-projects/project02

04 *URBAN RE-GENERATION IN MARUNOUCHI TOKYO, AND PROJECTS IN JAPAN AND OVERSEAS*
MITSUBISHI JISHO SEKKEI INC.
MITSUBISHI ESTATE CO.,LTD
株式会社三菱地所設計 / 三菱地所株式会社

Trong hơn 100 trở lại đây, Marunouchi, trung tâm thương mại sầm uất hàng đầu Nhật Bản đã trải qua nhiều lần tái tạo và dự án tái tạo được thực hiện từ năm 2000 là lần thứ 3. Trong lần này, với sự hợp tác hiệu quả giữa các cơ quan nhà nước và các doanh nghiệp, tổ chức tư nhân, hoạt động tái tạo một cách tổng hợp ở mức độ cao đã được thực hiện và khu phố đã được quản lý một cách có hệ thống, trở thành điểm đến yêu thích của nhiều người.

● Địa chỉ liên lạc
YMr. Akahashi Yosuke
Email: yosuke.takahashi@mj-sekkei.com
Điện thoại: +81-3-3287-5647

https://www.mj-sekkei.com/

05 *VIETNAMESE PROJECTS*
NIHON SEKKEI, INC.
株式会社日本設計

Giới thiệu các dự án do Tổ chức pháp nhân đã được thành lập từ 10 năm trước của chúng tôi tại Việt Nam như xây dựng khu lâm việc xanh, hội sở chính của các ngân hàng, dự án có sự hỗ trợ của vốn ODA, dự án phát triển du lịch, xây dựng quy hoạch đô thị, quy hoạch kiến trúc ở Khu công nghệ cao Hòa Lạc…

● Địa chỉ liên lạc
① Công ty **NHHH Nihon Sekkei**
Ban xúc tiến kế hoạch hợp tác quốc tế
Mr. Kanlaki Hiroki
Điện thoại: 050-3139-7570
Email: hiroki-k@nihonsekkei.co.jp
② Công ty **TNHH Nihon Sekkei Việt Nam**
Mr. Nguyen Duy Phuc (Giám đốc, KTS)
Điện thoại: +84-439765771
Email: Phuc-nguyen@nihonsekkei.co.jp

http://www.nihonsekkei.co.jp

06 YASUI ARCHITECTS & ENGINEERES,INC.
株式会社安井建築設計事務所

Đây là văn phòng kiến trúc đã có lịch sử và thành tựu trong suốt 93 do được xã hội và khách hàng ủng hộ. Với những kiến thức và kinh nghiệm lâu năm đó, chúng tôi đang phát triển công nghệ BIM tiên tiến nhất của Nhật Bản, cống hiến cho việc tạo lập các công trình kiến trúc đóng vai trò là nền tảng của các cộng đồng địa phương và tham gia vào các dự án không chỉ ở Nhật Bản mà cả ở các nước trên thế giới. Ở Việt Nam, chúng tôi có văn phòng đại diện ở Hà Nội và thực hiện các dự án từ Sapa đến Phú Quốc với sự hỗ trợ của các cán bộ, nhân viên người Việt.

● Địa chỉ liên lạc
Công ty TNHH thiết kế kiến trúc Yasui
Phòng hợp tác quốc tế
Mr. Quang Nguyen Huy
Email:quang-nguyenhuy@yasui-archi.co.jp
Điện thoại văn phòng : +81 6 6943 1371
Điện thoại di động : +81 90 8489 3926

http://www.yasui-archi.co.jp

07 TAIYO KOGYO CORPORATION
太陽工業株式会社

Tập đoàn Taiyo Kogyo sẽ giới thiệu về vật liệu màng kiến trúc với đặc trưng sáng, nhẹ và an toàn mà tiêu biểu là sản phẩm mới có tên "ETFE" có thể thay được kính. Chúng tôi sẽ trưng bày các công trình đã thực hiện như nhà ga tàu, sân bay, trường học, khu thể thao ở các nước trên thế giới. Thông qua đó rất mong các quý vị sẽ liên hệ đến cách phát huy sử dụng các vật liệu này ở khu vực Đông Nam Á.

● Địa chỉ liên lạc
Matsuda, Chi nhánh Singapore
Số điện thoại: +65-6338-8704

http://www.makmax.com/

08 *THE OTEMACHI TOWER*
TAISEI CORPORATION
大成建設株式会社

Tập đoàn xây dựng Taisei thành lập, tức Công ty TNHH Quốc tế Liên doanh VINACONEX - TAISEI (VINATA) tại nước sở tại vào năm 1993. Từ đó đến nay, hai phía Việt Nam và Nhật Bản đã hợp tác để thực hiện nhiều dự án khác nhau. Trong lần triển lãm này, chúng tôi sẽ giới thiệu các giải pháp độc đáo nhằm nâng cao giá trị không gia đô thị và tính năng của các công trình xây dựng cơ sở hạ tầng đô thị, trong đó tập trung vào dự án xây dựng Tòa tháp Otemachi mà Tập đoàn đã thực hiện từ khâu phát triển, thiết kế đến thi công.

● Địa chỉ liên lạc
Văn phòng đại diện ở Hà Nội (Việt Nam)
Điện thoại : +84-24-3553-5032, -5033
Văn phòng đại diện ở Tp. Hồ Chí Minh
Điện thoại : +84-28-3932-1759

http://www.taisei.co.jp/

09 LIXIL VIETNAM
リクシル ベトナム

Cửa đón gió tự động
Sản phẩm của GRANTS
Sử AQUA CLEEN 100 năm
Vật liệu điều chỉnh độ ẩm ECOCARAT

● Địa chỉ liên lạc
Điện thoại: +84-928 39972013

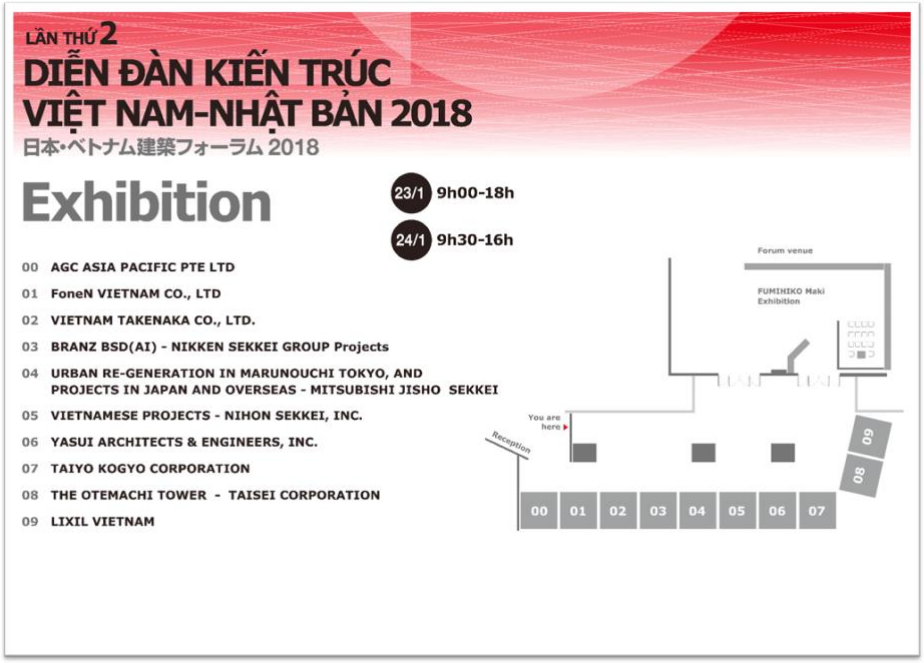
http://www.inax.com.vn

８．展示・デザイン

■展示サイン・デザイン　ステージ／バックドロップ

■展示サイン・デザイン　ホワイエ（正面エントランス）

■展示サイン・デザイン　ホワイエ（展示）



■展示サイン・デザイン　ホワイエ（フォーラム）